



心理学部 心理学科

教授 **西村 則昭** NISHIMURA Noriaki

専門・活動分野 **深層心理学**

最新の研究内容

テーマ： 仏教に学び、集中力・発想力を高め、本来的自己の存在感覚を醸成する心理療法

研究/活動紹介

①背景

人間の心には無意識の領域があります。フロイト（1856－1939）やユング（1875－1961）は、無意識にはたらきかけることによって、心の病が治療できることを発見しました。私はフロイト以来の心理療法を学び、30年以上実践してきました。現在、西洋的な心理療法の限界を感じ、仏教に学びつつ、新たな心理療法のあり方を探求しています。

②目的

現代、合理的・効率的な思考が優勢となっています。人々は合理化・効率化された社会に、ある意味、機械的・非人間的に適応させられています。そうして自分自身が生きている実感、本来の自己が生きている実感は、乏しくなっているのではないのでしょうか。そうした中で、心を病む人も増えているのではないのでしょうか。現代社会を生き抜くために、集中力・発想力を高めつつ、しかも本来的自己の存在感覚を醸成していく、そのような心理療法とはどのようなものかを、仏教に学びつつ、探求したいと思っています。

③成果・効果や展望

私の30年以上の臨床経験を振り返るという意味もこめて、一昨年（2024年）、著書『禅に学ぶ精神分析』（法藏館）を公刊しました。その中で私は、心理療法の目的を本来的自己の存在感覚を醸成する営みとして捉え、禅仏教に学ぶことで、そのような心理療法のあり方が明確になるということを述べました。今後は、この成果を実際の心理臨床に応用すると共に、一般の人々の精神衛生や生きがいの探求などにも役立てたいと思っています。

禅の「十牛図」より（失った牛 [= 真の自己] に気づいた場面）



箱庭療法



産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 医療・教育・福祉の分野における臨床心理学的援助。
- ・ 企業の職員にとっての、集中力や発想力を高めるためのプログラム作り、あるいは、精神的健康の増進や生きがい感の醸成のためのプログラム作り。

学会・経歴

- ・ 日本心理臨床学会
- ・ 日本宗教学会
- ・ 京都大学教育学研究科博士後期課程単位取得退学

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp